

Campus tree

菟場楓華（環境人間学部 2 回生）

キーワード：地域交流，地域活性化，つながり

1. 団体概要

Campus tree は、キャンドルナイトや古民家での改修ワークショップなどの地域のイベントを通して地域の人々との関わりの中で生まれる「つながり」を大切にしながら活動する、兵庫県立大学の学生による学生団体である。現在は 3 年生 5 人 2 年生 3 人の計 8 人で活動している。

2. 2022 年度の活動について

キャンドルナイトイベントや古民家の土壁改修ワークショップへの参加をはじめ、オープンキャンパスでのワークショップ開催やアクリエ姫路開館 1 周年記念イベントへの参加などである。加えて毎月 2 回のランチミーティングや、イベント前にはオンラインミーティングも行った。

土壁補修ワークショップには、2022 年 7 月と 12 月の計 2 回参加した。お世話になっている福崎町の旧小國家の所有者や講師の先生のご指導のもと、泥団子を作って土壁の基礎を作る作業を体験させていただいた。11 月には Campus tree のメインの活動といえるキャンドルナイトイベントのあぼしまちカフェクリスマスに参加した（写真 1）。キャン



写真 1 キャンドル展示の様子
（出所）所属学生撮影

ドルナイトのコンセプトや配置デザイン案などは、話し合いを重ねて工夫し、当日参加された多くの方にキャンドルを並べる作業を手伝っていただき、キャンドルナイトを成功させることができた。

3. 活動を通して学んだこと

地域のみなさんと関わりながら活動をする楽しさや自らイベントを動かす難しさ、Campus tree の仲間と協力することの大切さを学ぶとともに、キャンドルナイトを成功させることへの達成感など多くのことを学んでいる。特にあぼしまちカフェクリスマスのキャンドル展示においては、Campus tree からの当日のイベントへの参加が 2 年生 3 人のみの予定でキャンドルナイトの準備から片付けまでを行うことに対し不安を感じていたが、前日には Campus tree の先輩が手伝いに来てくださったり当日は連携先の方をはじめイベントに参加していた他の団体のみなさんが協力してくださったりして、Campus tree のメンバーはもちろんそれ以外の人も含むイベントに関わる人全員でキャンドルナイトを作り上げることができたことへの大きな喜びを感じた。このような人とのつながりはこれからも大事にしていきたい要素だと感じている。

4. 今後の展望

まず、新メンバーの確保が挙げられる。現メンバーは 1 年生が 0 人であり、代々続いてきた歴史ある団体であるキャンパスツリーの存続が危うく、対策を講じながら団体を存続させていきたいと考えている。具体の対策としては、SNS を通じて活動を多くの人に発信することで興味を持ってもらい、新メンバーの獲得につなげたいと考えている。また新たなイベントへの参加にも力を入れていきたい。私たちは、先輩たちがこれまでお付き合いをされていた連携先の方と継続的に今でもイベントに呼んでいただいているが、それに加えて新しいイベントにも参加してより一層広く活発に活動できるようアンテナを立てて動いていきたい。